

■ ■ エムズリゾートアシベツ（国設芦別スキー場）がオープン

1月1日、昨シーズン運営を休止していた国設芦別スキー場がM's Resort Ashibetsu(エムズリゾートアシベツ)としてオープンしました。

市から指定管理者として指名された、株式会社SUNFLAKE（札幌市：吉田勝大社長）が運営し、ゲレンデ以外にもウィンターキャンプのテントサイトや、子どもたちが遊べるキッズパークを設置。ロッジ内では

家族向けのラウンジスペースや、本格ハンドドリップのコーヒーなどが楽しめるM's beans（エムズビーンズ）芦別店、ランチ営業を行うカジュアル中華ダイニング青い薔薇^{ぼら}などが営業しており、通年型の施設への転換が進んでいます。

プロスキーヤーやユーチューバーとしても活躍する吉田社長は、「雪の中、遊ぶ事で得られる感覚や体験

は、代替できない素晴らしいものがある。スキー場を再生し地方創生を盛り上げていきたい。」と熱意を語っていました。

ゲレンデは今シーズン、リフトの運行は行わずスノーモービルでスキー客を山頂まで運搬（電話による事前受付制）。スキーセットやスキーウェアのレンタルサービスも行っています。

◎お問い合わせや施設情報／ M's resort Ashibetsu ☎22-1110、公式サイト <https://msresort-ashibetsu.com/>



■ ■ 全道から選ばれた中学生が集まりバレーボール合宿を開催

北海道バレーボール協会の主催による「第48回北海道ジュニアバレーボールキャンプ（2次）」が、1月5日から11日の7日間の日程で市総合体育館などで行われました。

昨年はコロナ禍で中止のため2年ぶりの開催となります。

道内の中学生を対象に、3つのグ

ループに分かれて1グループ2泊3日で合宿し、バレーボール技術や生活面での向上などを目的にするものです。

女子31チーム、男子20チーム、合わせて約500人が参加しました。

会場内はひたむきにボールを追う熱気に包まれていました。



■ ■ 防災の誓い新たに消防出初式が行われる



1月9日、「令和4年芦別消防出初式」が厳冬の中、総合福祉センターを主会場に行われました。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、今回は分列行進を中止して、会場を分けて開催されました。

当日は、滝川地区広域消防事務組

合芦別消防署職員・団員合わせて約110人と消防車両7台が整列して開会式となりました。

この後、総合福祉センターで各種表彰などが行われ、市民の防災意識を高めるための活動を行い、安心安全な市民生活を確立することなどを誓いました。